

風水害

風水害には台風・豪雨・土砂災害などがあります。これらの災害は、事前に予測できる場合があるため、普段から備えておくことが大切です。



警報・注意報の内容を知りましょう



風水害の危険を知りましょう

大雨

やや強い雨 1時間に 10～20mm	強い雨 1時間に 20～30mm	激しい雨 1時間に 30～50mm	非常に激しい雨 1時間に 50～80mm	猛烈な雨 1時間に 80mm以上
長く続くときには注意。	下水や小さな川が溢れる。	山・がけ崩れが起きやすい。	水が噴出したり土流が起これやすくなる。	大規模災害のおそれがある。

強風

やや強い風 10～15 m/秒	強い風 15～20 m/秒	非常に強い風 20～25 m/秒	猛烈な風 25～30 m/秒	猛烈な風 30～ m/秒
風に向かって歩けにくく、傘がさせない。	転倒する人も出る。屋根瓦材がはがれる。	つかまらないと立ってられない。	屋外での行動は極めて危険。走行中のトラックが横転する。	

洪水の種類

氾濫には川の水などがあふれてしまう「外水氾濫」と、降った雨を排水しきれず街中にあふれてしまう「内水氾濫」の2種類があります。

土砂災害の特徴



雨・風の対策をしましょう



防災情報
まちの

富良野市には、空知川、富良野川、ベベルイ川、ヌッカクシ富良野川、西達布川など、大雨が降った場合に浸水が起こる恐れのある川が複数あり、毎年のように大雨や台風などによる被害が発生しています。2016年には、一週間に3度の台風上陸や台風10号接近による大雨の影響で市内の河川が増水し、各地で避難情報を発令しました。9ページからのマップを見て、自分の地域の危険を確認しておきましょう。

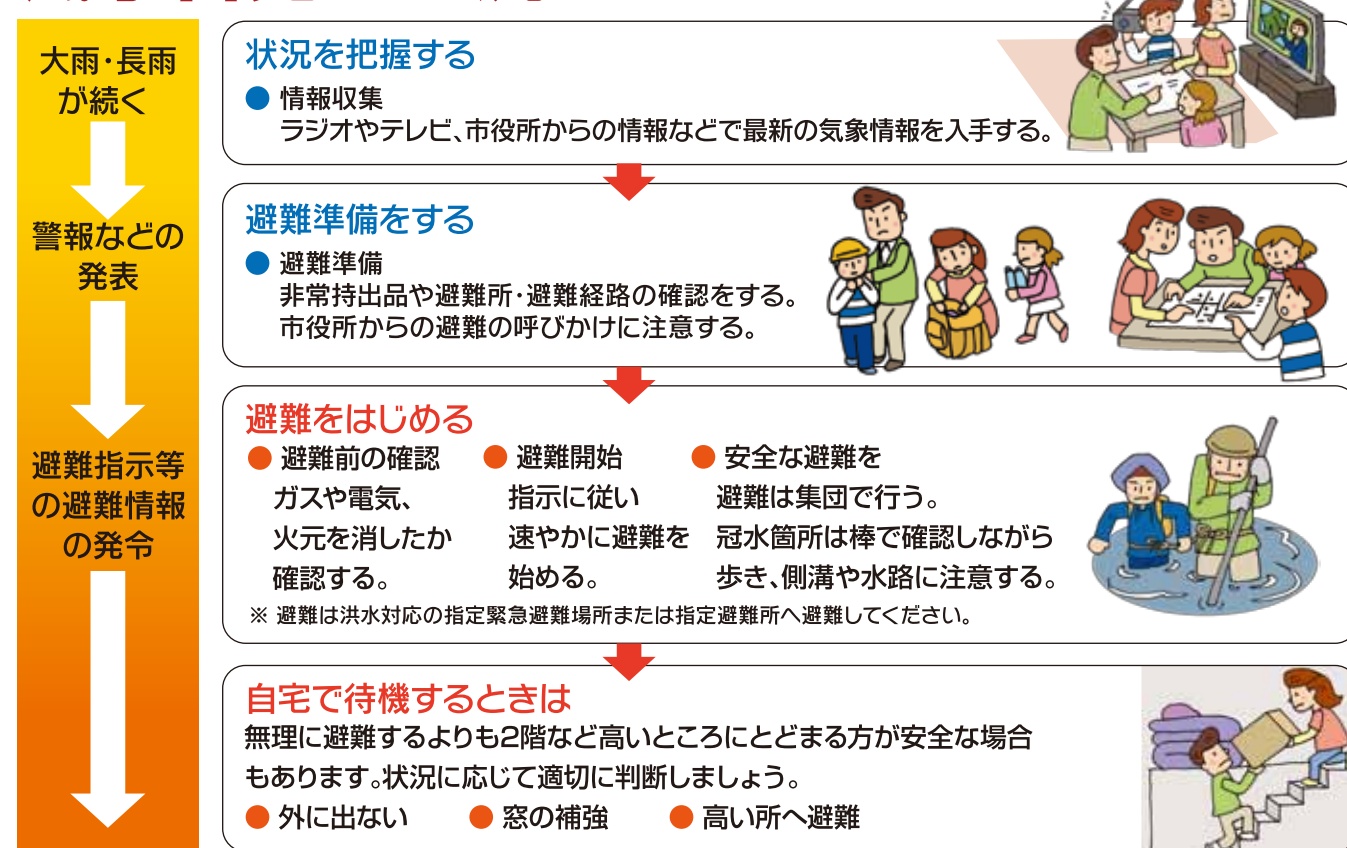


周囲の変化をとらえましょう

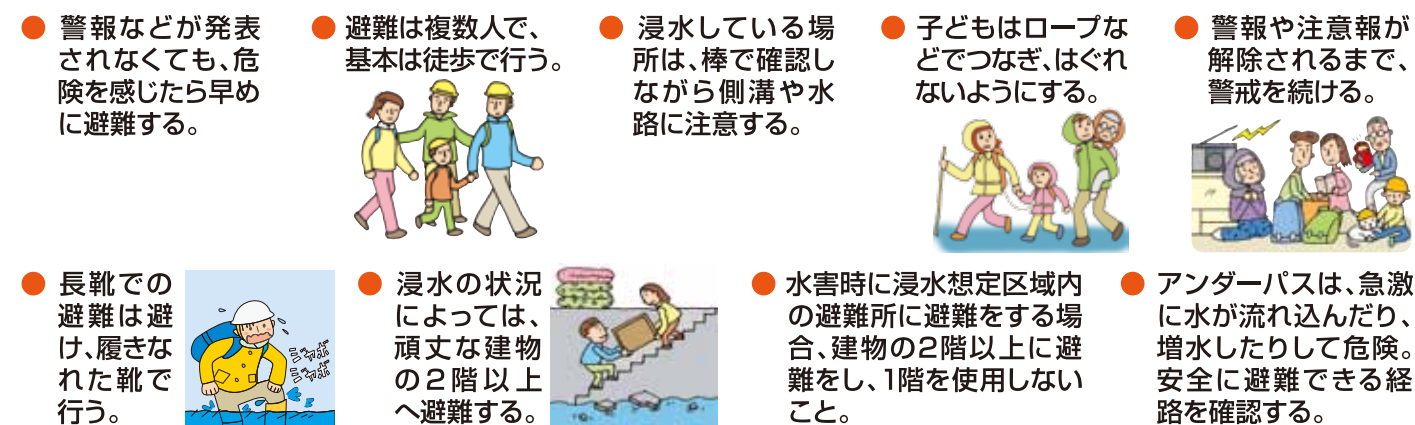
天候の変化 状況の変化（土砂災害の前兆）



風水害発生の流れ



避難するときの注意点



防災情報
まちの

富良野市では、洪水の危険性を実感できるよう、まちをまるごとハザードマップと見たと、「まちなか」に洪水関連標識を設置しています(対象河川:空知川)。なお、本防災ガイドマップにおいて、避難所などは国土交通省国土地理院のマークで表示しています。



洪水時の避難先となる安全な建物を示すマークです。

洪水の影響を受ける可能性があることを示すマークです。

自助・共助

風水害

地震

雪害
噴火

洪水ハザードマップ

内水ハザードマップ